

久田 恵さんの親御さんが入居をされた

「シルバーヴィラ向山」

「アブランドル向山」を訪ねて

4月に行われた作家、久田恵さんを迎えてのフォーラムは大盛況でした。

久田恵さんの書かれた「母のいる場所」を読み、ぜひシルバーヴィラの現在の様子が知りたいという会員さんの声に押されて、練馬の「シルバーヴィラ向山」、「アブランドル向山」に行ってきました。地下鉄大江戸線の「豊島園駅」から徒歩6分のところに1号館から5号館まで、さらに元気な人向けの「アブランドル向山」があります（全部で160室）。



〈シルバーヴィラ向山〉

「シルバーヴィラ向山」

「近所の方も、子どもたちも

出入りが自由

「シルバーヴィラ」の入り口にはシンボルツリーの大イチョウ、その横には「長期滞在用ホテル」の看板と、夏休みのお楽しみ「近所の方、子供さん、プールにどうぞ」の張り紙がありました。

「シルバーヴィラ」は、築26年の建物だけにそれなりの古さがありますが、昔懐かしい心るさとの家といった趣。玄関を入ってすぐのロビーは、一休みしている人や、お風呂に行く洗面器を持った人などがいて、昔の横丁のような雰囲気です。ペットもお酒も恋愛も自由と聞いていましたが、このロビーは横丁から出てきた人が夕涼みをしたり、ちよっと一服するのにとても似合った雰囲気。

次の棟に行く渡り廊下はテント屋根で、その渡り廊下からはプールで泳ぐ近所の子どもたちが、はしゃいでいるのが見えました。

「本」によると、このプールでのお花見が大イチョと書いてあり、案内してくださった岩城直子施設長に「ここでお花見を？」と聞くと、プールの中にテーブルや椅子を持ち込んだり、庭にも目いっぱいベークユーや食べ物が並ぶそうです。プールの上には八重桜の原木があり、その花びらを浴びてのお花見は盛り上がりそうです。

渡り廊下の途中に久田さんの「本」にてくる「花ちゃん食堂」があり、当時のユウコ先生も日曜日の「花ちゃんクラブ」には出てきてほろ酔いされて、楽しいお話が聞けるそうです。

特徴がたくさんあるシルバーヴィラ向山



シルバーヴィラは年齢制限なし、元気で働いている方、認知症の方、寝たきりの方など、どなたでも受け入れてもらえる「住宅型」の「住まい」です。

「住宅型」にしては特異な例で、24時間体勢でケアを受けられる「住まい」。

病気になるっても往診してくれる主治医のもとで最期まで居室で看てもらえます。主治医をたくさん抱えているのも特徴のひとつ。「住宅型」で看護師が24時間常駐して入るのは珍しい例です。「住宅型」ですから個別に介護保険事業者との契約になりますが、シルバーヴィラの経費の中かなりの介護が含まれているので、介護度による限度額まで使わなくても間に合うそう。在宅と同じ扱いなのでベッドや車椅子のレンタルも受けられますし、エアマットや体位交換用具などもレンタルできるので便利。

さらに外部のティサービスに行くこともでき、リハビリやリハビリケアに行くこともできます。

月費用の中に毎日の洗濯、掃除、ごみ出しも含まれています。

継続的に食費管理費が支払える方ならだれでも受け入れ可で、しかも経費は良心的。

☆2年滞在コースは入居金400万円（月費用はどれも同じで14万1750円）。

☆3年滞在コース入居金545万円。

☆生涯コースもあり、入居金は年齢別に830万円〜2354万円まで。

償却年数は、92歳以上の方は6年償却ですが、73歳の方は20年償却。

身元引受人がない場合は応相談。

入院などで、長期間留守になる場合は、食費・管理費が減額されます。これも非常に珍しいケースです（通常は食費のみが減額）。

施設長、生活相談員が施設内に居住しているのも心強いこと。運営懇談会は毎週行われ、外部の人の出席も可。毎食お部屋まで配膳、下膳してくれるサービスも無料。

「アブランドル向山」

償却期間は110歳まで

お元気を想定して

こちらは元気な方が入居するのにふさわしい「住まい」で、庭には大井戸もあります。

恵さんの本にあった「藤沢の自宅から持ってきた睡蓮が咲く池」がリビングの前庭に見えました。満開時にはピンクの花がとてもきれいとのこと。

一人の入居者の方のお部屋を見せていただきましたが、整理整頓が上手で使い勝手がよさそう。不便なことや不安は全くないそうです。

アブランドルのほうの

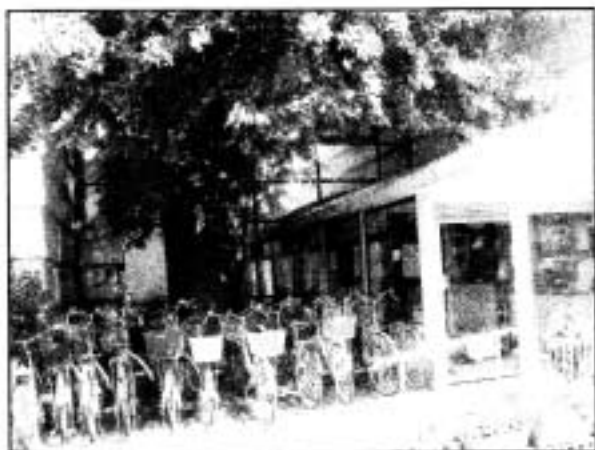
☆入居金は60歳で（2450万円）〜90歳（150万円）。月費用は12万1千円（朝食のみ）。

☆2年コースとして入居金300万円、月費用12万1千円、他に、入居金600万円、月費用18万5千円というコースもあります。

70歳以上の方の償却期間は40年、その理由は「110歳までお元気でいることを想定しています」。

シルバーウィラ、アブランドル共に居室内には床暖房、エアコン、洗面台、トイレ、冷蔵庫つき。

アブランドルにはミニキッチン、シャワールームがついています。



＜シンボルタワーのイチヨウの木＞

シルバーフェスタの舞台で
元気に発表

毎年5月に練馬文化センターで行われる「シルバー・フェスタ」は平均年齢87歳の発表会。要介護4、5の方もサポートつきで舞台で活躍されます。

練馬住民の楽しみになってきているようで、「シルバー住まい塾」のみならずも元気をもらいに来年は行って見ませんか？

日本人なら誰でも知っている有名女優さんのお母さん、名監督のお母さんもここで人生の最後を過ごされました。

高級で豪華な有料老人ホームではなく、人の温かみのある「ここ」を選んだということは、ケアの質がよほどよいのだと思います。

重要事項説明書も大変細かくて、お年寄りの理解を得やすいもの。

日本のお年寄りの「原点」が詰まったような「住まい」を見学しました。

料金体制は、いろいろありですから入居を考慮している方は住まい塾窓口までご連絡ください。

入居金の初期償却はありません。

〒176・0022

東京都練馬区向山3・7・11

（栗原 記）